

様式第6号（第6条関係）



平成29年10月30日

(宛先) 安曇野市議会議長 ~~濱一昭次~~

会派名 無所属  
代表者氏名 濱 昭次  
経理責任者氏名 濱 昭次



平成29年度政務活動費収支報告書

安曇野市議会政務活動費の交付に関する条例第9条の規定により、平成29年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	決算額	備考
政務活動費	52,500	
合計	52,500	

支出の部

項目	決算額	備考
研修費	15,000	(一社) 地方議員研究会
旅費	13,800	松本～都内往復
宿泊費	9,000	西鉄イン日本橋
合計	37,800	

2 収入支出差引残高

14,700円

備考

- 1 備考欄には、主たる収入支出の内訳を記載すること。
- 2 政務活動実施状況（別紙）を添付すること。

別紙

政務活動実施状況

活動名	セミナー～東京駅八重洲カンファレンスセンター	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	議会における、一般質問・代表質問等の作成スキルアップを学ぶ	
活動の概要	日時	29年4月25日(火)から29年4月25日(火)まで 14時00分から 16時30分まで
	研修先・主催者等	(一社)地方議会研究会～東京駅八重洲カンファレンスセンター
	報告内容・実施したこと。	議会において、如何に有効な一般質問・代表質問が出来る様にするには、どの様なコンテンツを重要視すべきか？ <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 質問の目的を的確に捉え、自分の知らない情報を得る。 自分の疑問を解決する。相手に気づかせる。相手に決断を迫る。相手を応援する。</li> <li>■ 自分の言いたい内容を、1、データ2、文献3、事実4、関係者へのインタビューと言った客観的なツールを使って組み立てる。</li> <li>■ 具体的な事実が存在すると、相手は無視できない。</li> <li>■ 5段階のアカウンタビリティ(説明責任)で質問を組み立てる。</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	議長職にある為、議員各位がする一般質問・代表質問が、研修内容に合致しているか？常に念頭に置いて采配を揮ったつもりだし、行政答弁の説明責任の適格性をチェックするのに役に立った。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	要請、陳情	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	国の農業施策と農業改革に鑑み、安曇野市に於ける今後の農業対策について要請した	
活動の概要	日時	29年4月26日(水)から29年4月26日(水)まで 10時00分から12時00分まで
	研修先・主催者等	参議院議員・近藤金日子氏 参議院会館719号室 東京都千代田区永田町2-1-1
	報告内容・実施したこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日本全国に亘る、土地改良区の今後の位置づけと役割</li> <li>■老朽化が激しい末端用水路の大規模改修について</li> <li>■コメの流通と生産について</li> <li>■需要に応じた生産について</li> <li>■農業特区の可能性と、メリットについて</li> <li>■主要農産物種子法とわさび等に関する公的機関の新設</li> <li>■転作作物の麦後を水張し、地下水の涵養をすることが法的に問題とされ試験的に認められたとはいえ、飼料米の作付が出来る様になった事から、その補助金等の支援を要請した</li> </ul>
	まとめ(感想・市政に活かせること等)	安曇野市に於ける農業形態は、多くが家族農業であり兼業農家である。 国の方針が農地の集積を意図しても限界があり、かと言って後継者の問題を考慮すれば、すぐそこに家族農業の限界もあり何とか農業特区的施策はとれないものか、研究に値すると思う

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。

## 別紙

## 政務活動実施状況

活動名	要望	
活動区分	①調査研究 ②研修 ③資料作成 ④資料購入 ⑤広報広聴 ⑥要請・陳情 ⑦その他	
活動の目的	平成28年度採択の「地方創生推進交付金」事業に係る平成30年度分子算付の要望	
活動の概要	日時	29年4月26日(水)から29年4月26日(水)まで 13時00分から15時00分まで
	研修先・主催者等	内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 唐沢剛内閣官房副長官補
	報告内容・実施したこと。	<p>■地方創生推進交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩尻市・松本市・安曇野市が連携して取り組んでいる「松本広域圏しごと創生事業」について3市が銀座NAGANO等において合同でセミナー実施</li> <li>・安曇野市・池田町・松川村の3市町村連携の「安曇野地域農産物／特産品輸出と外国人旅行者誘致事業」</li> </ul> <p>以上については、平成29年度も予算化されたが、平成30年度もお願いをする。</p> <p>■地方創生応援税（企業版ふるさと納税）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「登山客誘致の山岳環境整備事業」～三俣登山口トイレの水洗化工事にふるさと納税を活用する事の了解と予算化</li> <li>・インター東を核とした、開発の許可の可能性と規制緩和</li> <li>・移住促進要件として、農地面積取得基準を緩和できないか</li> <li>・川端康成・東山魁夷・井上靖3巨匠が絶賛した長峰山からの眺望に基づき、ケーブルカー設置の可能性</li> </ul>
	まとめ（感想・市政に活かせること等）	農業分野については、JAと行政が独自の事業を企画立案する事が基本的に求められ、横転開による今後の展望把握が重要。人口減に苦しむ中で、農業再生はまちづくりにも不可欠、刊行産業の確立と不可分。

備考 政務活動等実施状況は活動ごとに作成し、領収書その他支出を証する書類を最後にまとめて添付すること。